



作者：菊池一雄（1908～1985）

昭和期の彫刻家、東京芸術大学名誉教授。

東大美術史学科卒業後、パリに留学して彫刻の道に進む。帰国後、新制作協会の会員として指導的な立場で活躍するとともに、東京芸大教授や京都市立美大教授として約30年間美術教育に携わった。

写真の作品は、高松市中央公園に設置（1986年4月）されているブロンズ像の原型である石膏像です。

作者ならびご家族のご厚意により本校に寄贈されたものです。

現在、校舎（本館）の玄関ホールに設置しています。